

# ESPLANADE

FUKUOKA ART MUSEUM

おまたせしました

1

2

3

195

リニューアル記念号

## 所蔵品紹介

原子爆弾投下のニュースから受けた衝撃によって、生まれた絵画

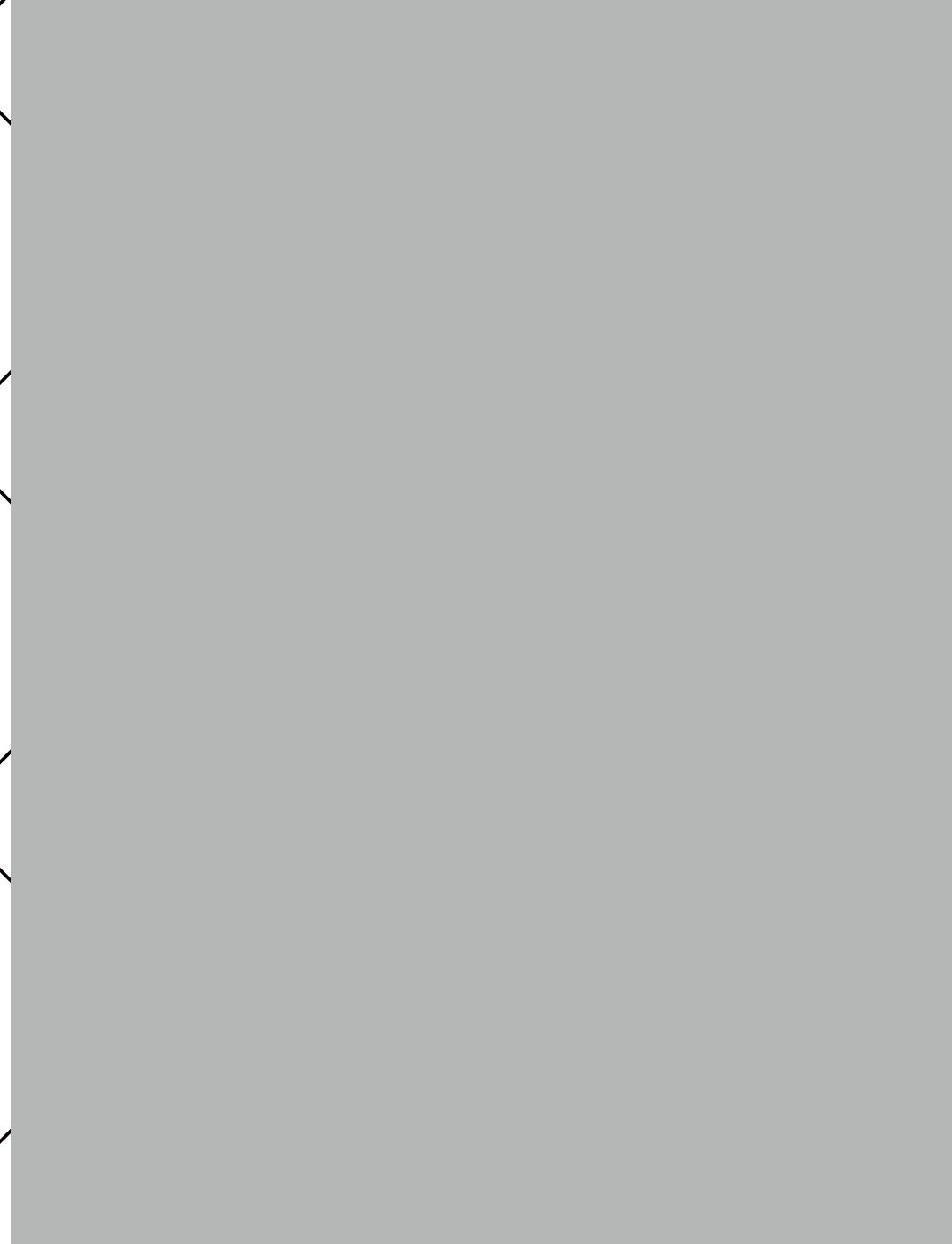
見てから  
読むか

1995年、福岡市美術館はサルバドール・ダリ《ポルト・リガトの聖母》を5億6000万円という価格で購入しました。これは作品の購入額としては当時考えられない金額です。しかし、バブル崩壊によってこの作品が手放されたため価格が下がっていました上に、ダリの戦後の出発を告げる重要な作品であったという理由から購入に踏み切ったというものです。その後、本作品が呼び水となり、今日も多くの方の関心を集めています。さて、この作品は何故それほどまでに私たちを惹きつけるのでしょうか？ダリはスペイン・カタルーニャ地方の裕福な家庭に生まれ、何不自由なく育ちました。早くから絵画に興味を持ったダリは美術学校へ入学し、その後、パリで活躍する画家たちと交流を深め、シュルレアリスムを代表する画家として名を挙げていきました。この時、後の妻となるガラと出会います。ガラは自らの生涯をダリに捧げることを誓い、ダリもまたガラを唯一無二の人として自身を重ねました。第二次世界大戦勃発に伴い、ダリはアメリカに長く滞在

しました。そして1945年8月、日本に2度の原子爆弾が投下されたニュースを知ったダリは、この原子力爆弾という科学の力に大きな衝撃を受けました。戦後、スペインのポルト・リガトに移り住んだダリはカトリックに歸依し、古典絵画への回帰を唱えました。本作品は作品名の通り、キリスト教絵画の主題であるモチーフや構図が用いられています。しかし、聖母や幼いキリストの腹部にはぽっかりと穴が空き、パンをはじめあらゆるもののが宙に浮かんでいます。実はここでダリは宗教と科学の融合を試みており、パンを中心に放射線状に広がる構図を原子核構造に見立てました。さらに、そのキリストを慈愛の眼差しで見つめる聖母は、マリアではなく妻のガラです。ダリにとってガラはミューズであり唯一の崇拜すべき人物でした。そのガラを聖母に置き換える行為そのものが、ダリらしい創意性といえるでしょう。そうして出来上がった本作品は伝統的なキリスト教絵画と一線を画したものとなつたのです。（渡抜由季）

読んでから  
見るか

ポルト・リガトの聖母  
サルバドール・ダリ  
**Salvador Dalí**



© Salvador Dalí, Fundació Gala-Salvador Dalí, JASPAR Tokyo, 2019 G1694

DATA

生年 - 没年 1904-1989  
制作年 1950  
技法・素材 油彩・画布  
サイズ 275.3 × 209.8cm



8

## ごあいさつ

お待たせしました。福岡市美術館、ようやくリニューアルオープンです。より開かれた美術館をめざして、これからさまざまなチャレンジをしていきます。その一環として、『エスプラナード』も、誌面をリニューアルしました。

リニューアル記念号は、福岡市美術館のリニューアルオープン記念展「これがわたしたちのコレクション+インカ・ショニバレCBE:Flower Power」を特集しています。当館が誇る日本有数のコレクションの中から、ダリ、ウォーホルなどの代表作や、重要文化財の仏像をピックアップ。作品の解説だけでなく、さらに一步踏み込んで、その背景、トリビアもお伝えします。さらに、英国を代表するアーティストである、インカ・ショニバレの日本初個展「インカ・ショニバレCBE:Flower Power」をご紹介します。

アートをもっと楽しむために、いつもそばにおいておきたい。いつまでも大事にとっておきたい。そんな存在をめざして、2019年春、『エスプラナード』は舵を切りました。今後ともよろしくお願いいたします。

(学芸課長 岩永悦子)



9



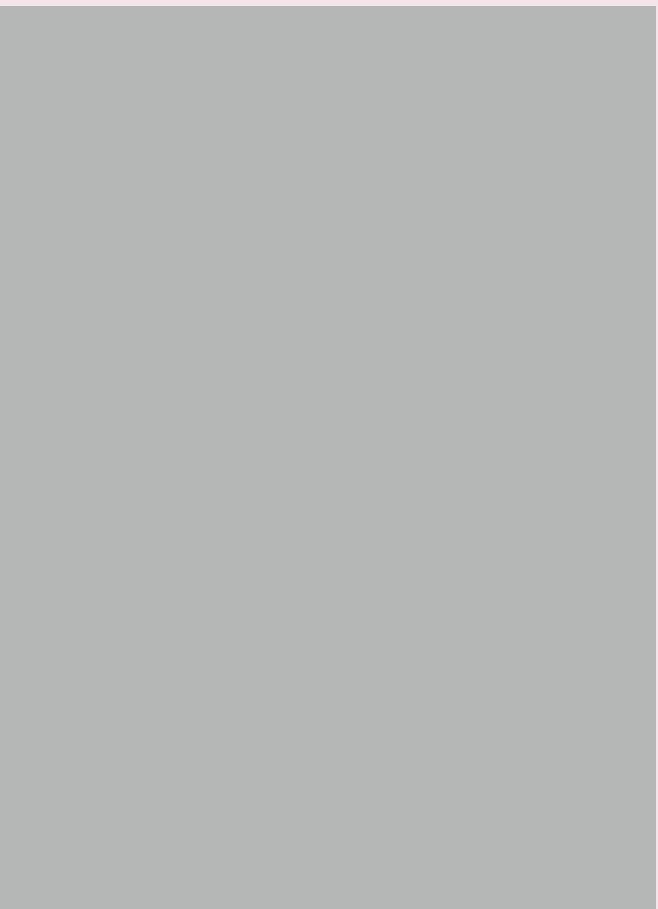
8. 仙庵義梵《犬図》江戸時代 9. ジャン=ミシェル・バスキア《無題》1984年 © The Estate of Jean-Michel Basquiat / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019 G1694 10. 《如水居士像》桃山時代 11. 重要文化財《野々村仁清《色絵吉野山図茶壺》》江戸時代 12. 重要文化財《薬師如来立像》平安時代

## CONTENTS

- 00 見てから読むか、読んでから見るか  
サルバドール・ダリ  
《ボルト・リガトの聖母》
- 04 ミドコロドコ?  
アンディ・ウォーホル  
《エルヴィス》
- 06 ミドコロドコ?  
《薬師如来立像》
- 08 ミドコロドコ?  
インカ・ショニバレ CBE  
《ハイビスカスの下に座る少年》
- 10 INSTAGRAM PICK UP!
- 11 FEATURE / LECTURE
- 12 CALENDAR / EVENT



5



6



1. アンディ・ウォーホル《エルヴィス》1963年 © 2019 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo G1694 2. ジョアン・ミロ《ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子》1945年 © Successió Miró / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019 G1694 3. 草間彌生《南瓜》1994年 4. サルバドール・ダリ《ボルト・リガトの聖母》1950年 © Salvador Dalí, Fundació Gala-Salvador Dalí, JASPAR Tokyo, 2019 G1694 5. 《唐物茶入 銘「博多文琳」》中國・明時代 6. マルク・シャガール《空飛ぶアトラージュ》1945年 © ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019, Chagall® G1694

4

1

## 《エルヴィス》から 見つかった サインとは？



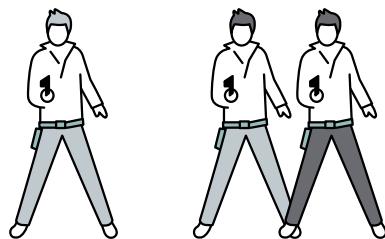
アンディ・ウォーホル

### Andy Warhol

1928年ペンシルベニア州ピッツバーグ生まれ。1950年代は商業デザイナーとして活躍。1960年代初めから、大衆的なイメージをシルクスクリーンの技法で制作した作品を発表。ポップアートの代表的存在となる。1960年代中頃からは、実験的な映画や雑誌の制作など、活動の幅を広げた。

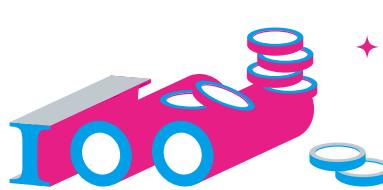
ウォーホルは早い時期から、自らが監督となって助手たちに制作を委ねるという方法をとっていました。そこがかかる有名なスタジオ「ザ・ファクトリー」です。《エルヴィス》のキャンバスの側面からは、ウォーホルの作品制作に欠かせない、スタジオチーフのジェラード・マランガが、ウォーホルのサインを記したものを見つかります。

## 2通りの版が 存在する！



《エルヴィス》には、同じ写真から版をとった、もう一連のエルヴィス作品群があります。当館のものよりも、コントラストが強いイメージを重ねて刷った作品で、3つ重ねたものは《トリプル・エルヴィス》と呼ばれています。まるでエルヴィスが動いているかのような、躍动感を感じさせる効果を生んでいます。

## 3 兄弟作品が およそ100億円！



兄弟とも言える作品《トリプル・エルヴィス》は、2014年にクリスティーズが行ったオークションで、なんと約100億円の高値で落札されました。当館が1987年に購入したときは、約1億3000万円。その時点でも、もちろん高価でしたが、その後のウォーホル人気によって、いまではすっかり相場が高騰しています。

### EXHIBITION INFO

#### 「これがわたしたちのコレクション」

◆日時 2019年3月21日～5月26日

◆会場 福岡市美術館1・2F

(コレクション展示室および  
ギャラリーA～F)

当館が40年以上にわたって収集してきた約16,000点の中から、代表的な250点が一同に会します。

《エルヴィス》は2Fコレクション展示室で展示。

2F

1

## 現代美術といえ まさにこの作品！

もともとは  
長いロールに巻かれていた？

《エルヴィス》の裏には、表面と同じイメージが写りこんでいます。これはシルクスクリーンで刷った後、作品が乾く前にくるくると巻いたために裏写りしたものと考えられています。その後、ロールの一部から切り出されて木枠に張られ、今の作品の姿になりました。このトリミングにもウォーホルの意図が託されているのでしょうか？

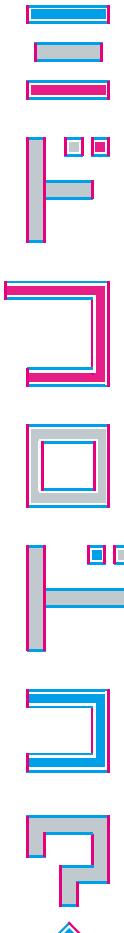
4

DATA	
作品名	作者名
エルヴィス	アンディ・ウォーホル
1963	
208.0×292.3cm	シルクスクリーン、スプレー塗料・画布

この作品の魅力を一言で表現する  
としたら、「**THE 現代アート**」  
というのがぴったりだと思います。  
いうのも、ウォーホルはこの作品を既  
存の写真イメージを「版」として自ら  
の作品にとりこんだ。つまり、作品を  
0歳から「描いて」いません。今回の展  
覧会では、サルバドール・ダリやジョ  
アン・ミロの作品も展示していますが、  
彼らは自らイメージを生み出して「描  
いた」。一方、ウォーホルの作品は写真  
を複写しているだけ。**わたしたちも**  
**作れそう。**このような作品が、巨匠た  
ちががんばって（しかも上手に）「描い  
た」作品と同じように展示され、アーテ  
ィストとして扱われていることを不思議に  
思いませんか？そして、展示室を見渡  
してみると、マネできそうな作品が案  
外多いことに気が付かれるのではないか  
でしょうか？これらの作品がなぜアーテ  
ィストがこれを作品にしようと思  
ったから」、ただそれだけなのです。上手  
につくることよりも、どのようなコン  
セプトであるのかが重要なのが現代ア  
ートです。

この作品の魅力を一言で表現する  
としたら、「**THE 現代アート**」  
というのがぴったりだと思います。  
いうのも、ウォーホルはこの作品を既  
存の写真イメージを「版」として自ら  
の作品にとりこんだ。つまり、作品を  
0歳から「描いて」いません。今回の展  
覧会では、サルバドール・ダリやジョ  
アン・ミロの作品も展示していますが、  
彼らは自らイメージを生み出して「描  
いた」。一方、ウォーホルの作品は写真  
を複写しているだけ。**わたしたちも**  
**作れそう。**このような作品が、巨匠た  
ちががんばって（しかも上手に）「描い  
た」作品と同じように展示され、アーテ  
ィストとして扱われていることを不思議に  
思いませんか？そして、展示室を見渡  
してみると、マネできそうな作品が案  
外多いことに気が付かれるのではないか  
でしょうか？これらの作品がなぜアーテ  
ィストがこれを作品にしようと思  
ったから」、ただそれだけなのです。上手  
につくることよりも、どのようなコン  
セプトであるのかが重要なのが現代ア  
ートです。

福岡市美術館の、リニューアルオープン記念展「これがわたしたちのコレクション」  
ナインカ・ショニバル・CB-E・F-OWER POWER」をもっと楽しんでいただく  
ために、今回展示される作品の中からおすすめをピックアップ。まずは当館の  
近現代美術を代表するアンディ・ウォーホル《エルヴィス》をご紹介します。





## 1 平安時代後期の仏像はのっぺりしている!

鎌倉時代に活躍した運慶や快慶がつくった量感豊かな仏像に比べると、平安時代後期の仏像はつるりとした印象。これは決して技術がなかったわけではなく、意図的になされたものです。というのも、作られた当初は金箔が貼られたりもしていたので、でこぼこがあるとどうしても仏像に陰影がついてしまいますよね? 夜空に輝く満月のように一点の曇りもない姿こそ、当時の貴族たちが求めた理想のはとけだったのです。

## 2 仏像にもランクがある

仏像は修行の段階や役割によって、いくつか種類が分かれます。偉い方から悟りを開いた「如来」、如来を目指して修行中の「菩薩」、大日如来の分身である「明王」、いろいろな神様が集まつた「天」。東光院仏教美術室では、薬師如来立像の両脇に日光・月光菩薩が控え、さらに周りを天である十二神将がぐるりと取り囲んでいます。

## 3 悟りを開くと変身する!?

悟りを開いて如来になると超人的なからだの特徴が表れると言われています。例えば、「頭の上に大きなこぶのようなものができる」「長い髪の毛が自然とくるくると巻き、バーマのような螺旋になる」「足が甲高になる」「眉間の白い毛が丸まる」「手に水かきができる」などなど。薬師如来立像にも、そのいくつかが表現されています。

## 4 仏像の中身って?

薬師如来立像は、木でできた仏像です。平安時代前期は、一本の木材から彫り出す「一木造り」という手法が主流でしたが、後期になると二本以上の木材を組み合わせる「寄木造り」という手法で、仏像が作られるようになりました。中はくりぬかれているので、大きさの割に重たくはありません。

## 5 まわりを固める十二神将の秘密



### 薬王密寺東光院

福岡市博多区吉塚にあり、およそ1200年前の大同元年(806)に最澄によって開かれたと伝えられる。古来、人々から篤く信仰を集めていたが、明治時代以降は次第に衰退し昭和56年(1981)に宗教法人を解散し、寺院としての活動を停止している。東光院に伝來した仏像は、永らく後世へ伝えていくため福岡市に寄贈された。

### EXHIBITION INFO

「これがわたしたちのコレクション」  
 ◆日時 2019年3月21日~5月26日  
 ◆会場 福岡市美術館1・2F  
 (コレクション展示室およびギャラリーA~F)  
 薬師如来立像は、寺院をイメージして生まれ変わった、1Fの東光院仏教美術室で鑑賞することができます。

## 博多の人々に愛されたほとけさま

今回のリニューアルにより、

東光院仏教美術室はお堂をイメージした空間になりました。  
 担当学芸員に、東光院に伝来した  
 薬師如来立像の歴史を聞きました。

られたのは、平安時代・12世紀のことなので、最澄が活躍した時期とは大きく離れています。それでは、この伝承はどうなめなのかな? というと、私はそうではないと思います。というのも、この像が作られた頃の博多は、中国をはじめとするアジア諸国との交易を通じ

て大変繁栄していました。事実、東光院の周辺からも中国産のやきものが多く発掘されており、当時の活発な交易を物語っています。実は、薬師如来は航海安全のご利益をもたらす仏でもあります。このご利益を篤く信仰していたのが、最澄だったのであります。つまり、博多

の発展をささえる航海安全を祈願するための仏としてこの薬師如来は制作され、同じく、航海安全祈願で有名だった最澄の名前が制作者として伝えられるに至ったのではないかでしょう。



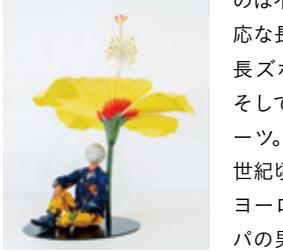
DATA	指定 作品名 時代・世紀 技法・素材 サイズ
重要文化財 薬師如来立像 平安時代 12世紀 木造 像高 198.0cm	

薬師如来は、左手に持つた薬壺であらゆる病を癒すとされる仏です。当館の薬師如来はもともと博多区吉塚の薬王密寺東光院に伝来しており、寺院の建つ地名にちなんで「堅粕薬師」と呼ばれ、人々から親しまれてきました。如来(仏教の悟りを開いた者)に

はいくつか種類がありますが、その多くは、例えば阿弥陀如来が死後に極楽へ導いてくれるように、現実の暮らしとは必ずしも結びつかないご利益をもたらします。一方、薬師如来は病の治療という現実的な願いを叶えてくれることから、転じて、現実世界の様々な

苦しみや災いから救ってくれる存在と考えられていました。そんな薬師如来を篤く信仰した人物に、日本における天台宗の開祖、最澄があり、当館の薬師如来も平安時代に彼が造像したと伝えられています。ですが、この像が作られています。

**夕** イトルのとおり、**黄色いハイビスカス**の大きな花の下に少年が座っています。ハイビスカスはインカ・ショニバレが幼少期を過ごした**ナイジェリア**にもたくさん咲いている花だそうです。イギリスに生まれ、ナイジェリアで3歳から17歳までを過ごし、その後イギリスで暮らすショニバレにとって、この花は子ども時代の記憶と結びついたものでした。少年は、ハイビスカスの花の影で、強い日差しを避けて涼んでいるように見えます。暑い気候が想像されるのに、彼が身に着けているのは不相応な長袖、長ズボン、そしてブーツ。19世紀頃のヨーロッパの男児



2

イギリスを代表するアーティストで、世界中で人気を誇るインカ・ショニバレCBEの日本初個展が、当館で実現しました！重層的な作品を読み解くヒントを、担当学芸員に聞きました。

## 「アフリカンプリント」の鮮やかさに魅せられ、ルーツに驚く。

が身に着けていたような西洋風の服です。そしてこの服はナイジェリアでも一般に衣服に用いられている、「アフリカンプリント」とも呼ばれるカラフルなプリント綿布で仕立てられています。しかし実は、この布はアフリカ発祥ではありません。この布には、ヨーロッパがインドネシアのバティックを模倣し製造した布を植民地であるアフリカで販売し、現地に根づき、現在の形にいたったという歴史があります。もう一つ、少年の頭についている地球儀にも注目してみましょう。この地球儀は、かつての大英帝国の植民地が赤く示されています。ショニバレの故郷である、ナイジェリアも赤く塗られています。イギリスとナイジェリアというふたつの国の歴史や関係を花や布、地球儀で示す本作品は、作家の自画像ともいえるものです。



Photo: Courtesy of Marcus Leith RA

## 「アフリカンプリント」と福岡市美術館

アジアの染織を長らく収集・研究・展示してきた当館は、更紗のグローバルな展開を紹介した展覧会「更紗の時代」(2014年開催)の最終章で、「アフリカンプリント」を取り上げ、以降も収集と調査研究を続けてきました。「インカ・ショニバレ CBE: Flower Power」は、イギリスを代表するアーティストの現代美術展ではありますが、布を媒介として当館の古美術の活動ともつながっているのです。会場ではショニバレ作品はもちろん、当館が収蔵する「アフリカンプリント」や貴重な日本製「アフリカンプリント」も国内より借用し、この布の魅力もあわせてご紹介します。古美術から近現代美術まで幅広く活動する当館のリニューアルオープン記念にふさわしい展覧会といえるでしょう。

### EXHIBITION INFO

「インカ・ショニバレ CBE: Flower Power」  
◆日時 2019年3月21日～5月26日  
◆会場 福岡市美術館2F  
(特別展示室)  
インカ・ショニバレの日本初の個展であり、代表作とともに花をモチーフとした作品も展示。福岡市美術館のリニューアルオープンを記念して、桜をテーマとする新作も発表されます。

<b>D A T A</b>	作品名 作者名 制作年 技法・素材 サイズ	ハイビスカスの下に座る少年 インカ・ショニバレ CBE 2015 マネキン、オランダ製ワックスプリント綿布、地球儀、皮革、スチール 137×68×59cm
----------------------------	-----------------------------------	---



## LECTURE

### つきなみ講座 March-June 2019

毎月1回、当館学芸員が、自身の仕事、展示、研究、関心ごとについて語ります。聴講無料。直接会場にお入りください。



特別編  
「東光院仏教美術室  
リニューアル記念  
徹底解説！東光院のすべて」

3  
月

- ◆日時 3/23 土 14:00~15:45
- ◆会場 1階 ミュージアムホール（定員 180名）
- ◆講師 錦織亮介（当館館長）、宮田太樹（当館学芸員）

特別編  
「インカ・ショニバレ CBE の  
活動と作品について」

4  
月

- ◆日時 4/27 土 15:00~16:00
- ◆会場 1階 ミュージアムホール（定員 180名）
- ◆講師 正路佐知子（当館学芸員）

5  
月  
「誰もが楽しめる美術館を目指して」



- ◆日時 5/25 土 15:00~16:00
- ◆会場 1階 レクチャールーム（定員 54名）
- ◆講師 古賀弥生（九州産業大学教授）、鬼本佳代子（当館主任学芸主事）

「小さなメディアに思いをのせる  
藤森静雄と『月映』の時代」



藤森静雄（ひづる／く／ね）

- ◆日時 6/22 土 15:00~16:00
- ◆会場 1階 レクチャールーム（定員 54名）
- ◆講師 忠あゆみ（当館学芸員）

6  
月

## FEATURE

### 福岡ミュージアムウィーク 2019 開催！

5/18 土~5/26 日

5月18日「国際博物館の日」を挟んだ前後10日間にわたる「福岡ミュージアムウィーク」が今年も開催されます。福岡市内19のミュージアムが入館割引を行ったり、プレゼントを準備したり、イベントを開催したり…お得に楽しくミュージアムを巡るためのこの機会をお見逃しなく！

野村誠コンサート  
「ノムラノピアノ×福岡市美術館」



作曲家・音楽家の野村誠さんは2009年に当館でワークショップを開催し、所蔵品にちなんだ21のピアノ曲を作曲しました。これらの曲を中心としたピアノソロコンサートです。

◆日時 5/18 土 14:00~15:30

- ◆会場 1階 ミュージアムホール（定員 180名）
- ◆申込み 30分前より受付開始。先着順
- ◆参加費 無料



2009年のワークショップの様子

展示室に楽器を持ち込んで、作品を楽譜に見立て、演奏してみると通常なら不可能な、実験的な試み（ワークショップ）をおこなったのは2009年の夏。作品を楽譜として見るってどういうこと？という不思議からはじまり、作品をじっくり見ながら楽器を鳴らす参加者が、何度も同じように演奏できてしまうことに、驚いたり納得したりしたものです。

参加者の演奏をもとに、野村さんの手によって生まれた21のピアノ曲（作品名が曲名になっています）は以降、世界中で演奏されてきました。10年前に作られた当館所蔵品の曲たちが、久しぶりに美術館に帰ってきます！あわせて野村さんのピアノとトークも堪能できる、たのしい1時間半です。

詳細はこちら！ ▶ 福岡ミュージアムウィーク

草苑

Follow us!



フォローしてね！

## INSTAGRAM

### PICK UP!

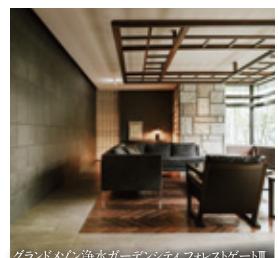
@fukuokaartmuseum  
♡ 2019

福岡市美術館は  
インスタグラムをはじめました。



#福岡市美術館

リニューアルを機会に、公式インスタグラムを始めました。館内のお部屋の撮影もOKです。1Fのコレクション展示室では自撮りもできますので、あなたのSNSに作品とのセルフィーをアップしてくださいね。



時と共に美しく、積水ハウスの分譲マンショングランドメゾン

GRANDE MAISON  
グランドメゾン

「グランドメゾン俱楽部」会員募集中

お問い合わせは 0120-143-377 [グランドメゾン] 検索

SEKISUI HOUSE 積水ハウス株式会社

福岡市美術館ミュージアムイベント協賛企業・団体 /

SEKISUI HOUSE

We Find the Way  
日本通運  
NISSON EXPRESS

九州電力  
ずっと先まで、明るくしたい。

## CALENDAR

特別展示室	コレクション展示室 近現代美術			コレクション展示室 古美術		
	近現代美術室A	近現代美術室B	近現代美術室C	企画展示室	松永記念館室	東光院仏教美術室
3 MARCH	インカ・ショニバーバーBE: Flower Power 3/21~5/26					
4 APRIL						
5 MAY						
6 JUNE	富野由悠季の世界 6/22~9/1					
<b>3/21-5/26</b> <b>福岡市美術館リニューアルオープン記念展 これがわたしたちのコレクション</b>						
<b>1コレクションハイライト</b>						
<b>「現代の美術」</b>						
<b>「モダンアート再訪」</b>						
<b>「美術でつなぐ福岡とアジア」</b>						
<b>「春の名品展」</b>						
<b>「東光院のみほとけ」</b>						
<b>5/28 近代美術と九州 コレクションハイライト①</b>						
<b>5/28 藤森静雄と『月映』の作家 コレクションハイライト②</b>						
<b>5/28 田中丸コレクション 唐津と高取 松永耳庵の茶</b>						
<b>5/28 東光院のみほとけ</b>						
<b>5/28 8/25 コレクションハイライト②</b>						

本誌掲載の催しは当館主催のものです。他の催しやイベントの詳細は、当館ウェブサイトで随時お知らせします。また、催しの名称、会期などは変更となる場合がございます。

## ふくおか応援寄付

ふくおか応援寄付



福岡市美術館が魅力的であり続けるためには、今後とも機会あるごとに美術品を収集することが不可欠であり、そのための資金として皆さまから「ふくおか応援寄付」(ふるさと納税による寄付)を募集しています。

10万円以上ご寄付いただいた方には、特別企画展開会式の招待状(1年分)を、また、福岡市外にお住まいの方で一定額以上の寄付をされた方には福岡市の特産品をお送りします。

みなさまからの応援をお待ちしています！

## EVENT

## 九州交響楽団メンバーによるコンサート

リニューアルしたミュージアムホールにて楽団メンバーによるクラシック演奏をお届けします。

- ◆日時 **3/22金・4/28日** いずれも**14:00~** 開場**13:30**
- ◆会場 1階 ミュージアムホール (定員**180**名)
- ◆申込み 不要
- ◆参加費 無料

## 映画上映「草間彌生 わたし大好き」

当館所蔵品の中でも人気の高い《南瓜》の作者である草間彌生さん。前衛芸術家として世界的に知られる彼女の創作活動と日常を、1年半に渡って記録したドキュメンタリー映画を上映します。

- ◆日時 **3/31日** 2回上映 **10:00~/14:00~**
- ◆会場 1階 ミュージアムホール (定員**180**名)
- ◆申込み 当日先着順で整理券を配付  
(配付開始は**9:30~** ミュージアムホール前にて)
- ◆参加費 無料

## ギャラリーツアー

## ● 学芸員によるコレクション展示解説

当館学芸員が、「これがわたしたちのコレクション」の出品作品について、部門別に解説します。

- ◆日時 **A:古美術編 4/7日・4/13土・5/19日**  
**B:近現代 3/30日・4/29月・**  
**美術編 5/11日・5/26日**
- いずれも**15:00~** (1時間程度)

- ◆会場 開始5分前に、**A**は1階コレクション展示室(古美術)入り口、  
**B**は2階コレクション展示室(近現代美術)入り口にお集まりください。

- ◆申込み 講説無料・事前申込不要ですが、展覧会観覧券が必要です。
- ◆参加費 無料

## ● ボランティアによるギャラリーツアー

当館ガイドボランティアが「これがわたしたちのコレクション」の出品作品の中から3点を選んで解説します。

- ◆日時 **4/10水** より会期中毎日 (休館日を除く)  
**11:00~/14:00~** (40分程度)

- ◆申込み 開始5分前に1階ロビーにお集まりください。

- ◆参加費 講説無料・事前申込不要ですが、展覧会観覧券が必要です。

## 利用案内

## 開館時間 9:30~17:30

(7月~10月の金・土曜日は9:30~20:00)

※入館は閉館の30分前まで。

## 休館日 月曜日 / 年末年始 (12/28~1/4)

※月曜日が祝日・振替休日の場合は

その後の最初の平日

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

TEL 092-714-6051(代表) FAX 092-714-6071

[www.fukuoka-art-museum.jp](http://www.fukuoka-art-museum.jp)

